

経営企画部長まとめ

国内外のエネルギー・環境問題を取り巻く状況は、日々大きく変化しております。世界的な状況といたしまして、2013年11月に開催された「国連気候変動枠組条約第19回締約国会議(COP19)」では、2020年以降米国や中国を含めた合意するすべての国が、自主的に温暖化ガスの削減目標を定めて取り組むことに合意しました。また、国内におきましては、中長期的なエネルギー政策の基本的な方向性を示すため、2014年4月に政府による「第4次エネルギー基本計画」が策定され、石炭、石油、原子力、再生可能エネルギーなど各エネルギー源の位置付けが示されました。

こうした状況のなか、当社グループは地球環境問題に対して長期的な視点で取り組み、太陽光等再生可能エネルギーの導入、様々な環境保全技術を有した「エコステ」モデル駅の整備、駅へのエネルギーマネジメントシステム(EMS)の導入などに積極的に挑戦しております。合わせて、安全で品質の高いサービスの提供を通じて、企業の社会的責任(CSR)を果たし、未来へ向けた持続可能な社会の実現に貢献したいと考えております。

「CSR報告書2014」では、環境・安全・社会を中心として当社グループの様々な取り組みについて紹介しております。環境パフォーマンスデータなどについて、多くの定量的なデータを記載するとともに、写真や図などを用いて分かりやすく編集いたしました。

また今年度は、世界的な情報開示の流れに合わせ、企業によるCO₂排出量を示す「スコープ1・2排出量」を新たに記載いたしました。そのほか、「特集」として、「グループ経営構想V ~限りなき前進~」に関連する6つのトピックを掲載したり、「VOICE」(インタビュー)として、現場第一線の社員の生の声をお伝えしたりすることで、皆さまに当社グループの取り組みを具体的にご理解いただけるよう工夫いたしました。

今後も「グループ経営構想V」に基づき、海外の動向を視野に入れながら、社会から寄せられる期待やステークホルダーの皆さまからの信頼に応える企業を目指してまいります。



執行役員
総合企画本部経営企画部長
坂井 究